

BMC プログラム・海外派遣報告書

化学専攻 構造有機化学研究室
博士後期課程 3 年 清水 章弘

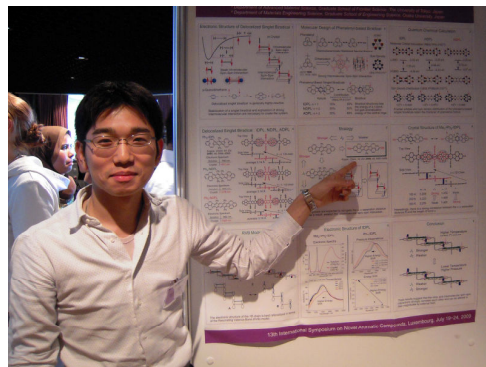
参加学会、会場：

1) ISNA-13 (13th International Symposium on Novel Aromatic Compounds)、ルクセンブルグ、ルクセンブルグ市、L' Hémicycle, Conference Center

2) ISNA-13 Satellite meeting、Diradicals and Multiradicals : Theory and Experiment、ベルギー、ナミュール、FUNDP

派遣期間：2009 年 7 月 18 日 ～ 7 月 30 日

今回、私は BMC インテグレートド大学院理学教育のご支援をいただき、ルクセンブルクで行われた ISNA-13 (13th International Symposium on Novel Aromatic Compounds) およびベルギーで行われた Satellite meeting、Diradicals and Multiradicals : Theory and Experiment に参加し、ポスター発表とショートプレゼンテーションをさせていただきました。ISNA は構造有機化学の伝統ある国際学会であり、世界的に著名な研究者が数多く参加していました。その名の通り、新規な芳香族化合物に関する非常に興味深い研究発表が数多く行われました。芳香族性に関する非常に基礎的な研究から、デバイスへの応用を目指した研究まで様々あり、幅広く知識を深める事が出来ました。自分の研究に役立つアイデアも得られましたし、また今後どのように研究を進めていくべきか、大いに考えさせられる学会でした。ポスター発表では自分の研究成果に対して著名な先生方と大いに議論することができました。同世代の研究者と議論できたのも非常に刺激的で良い経験になりました。



Satellite meeting は ISNA と比べると非常に小さな学会でしたが、実験化学者と計算化学者が熱く議論を交わしていました。私自身、計算化学者と話をする機会は少ないので、このような機会を得られたのは非常にありがたいことでした。ビラジカルというこれまで計算が難しいとされていた分野の学会でしたが、計算化学の発展は著しく、今後研究を進めていくうえで、計算化学者と共同研究を行うのは必須のことに思われました。また、この学会の主催者は私が以前に留学させていただいた研究者であり、留学させていただいてから一年半ほど経つにも関わらず、私の研究の進捗状況を気にかけて下さり、非常にありがたく、早く期待に応えられるようにならなくてはと思いました。

最後になりましたが、約 2 週間という長い間、学会に参加するにあたり、経済的援助をしていただきました BMC インテグレートド大学院理学教育プログラムの関係者の皆様、様々な面でご協力いただきました構造有機化学研究室の皆様に深く御礼申し上げます。

